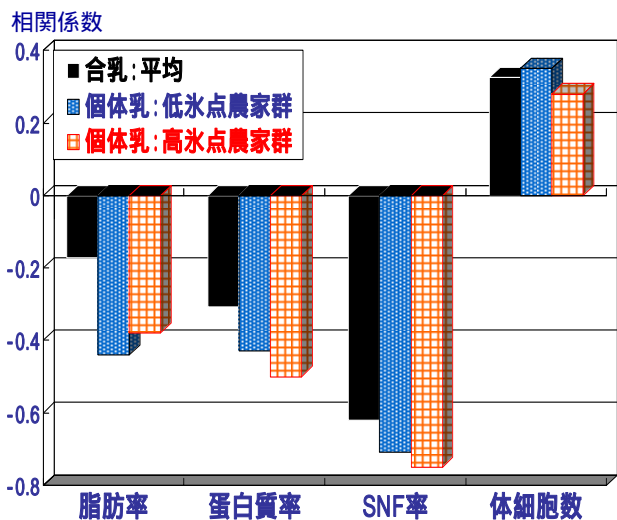


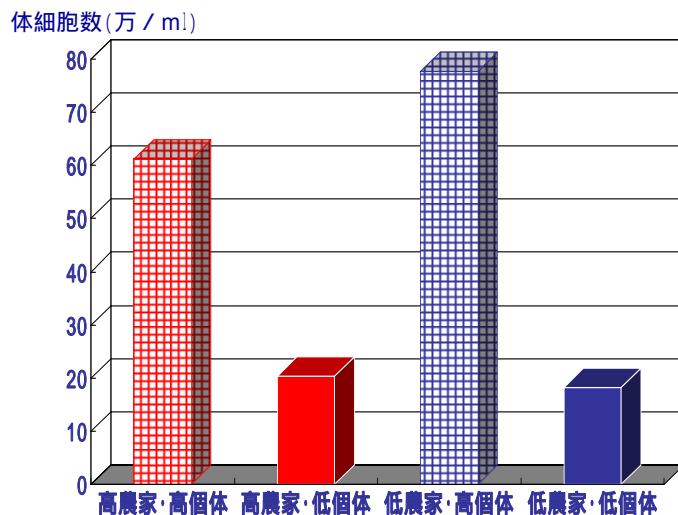
氷点を利用して生乳の品質を改善する

【背景・目的・成果】 生乳の新しい評価項目を作成するために、個体乳氷点を調査しました。個体乳の氷点は、乳成分率、特に無脂乳固形分率と高い負の相関があり、乳量、体細胞数、産次、泌乳期など多くの要因により変動します。また、氷点の高い農家群は高産次・高乳量・低成分率を示すことが明らかとなりました。



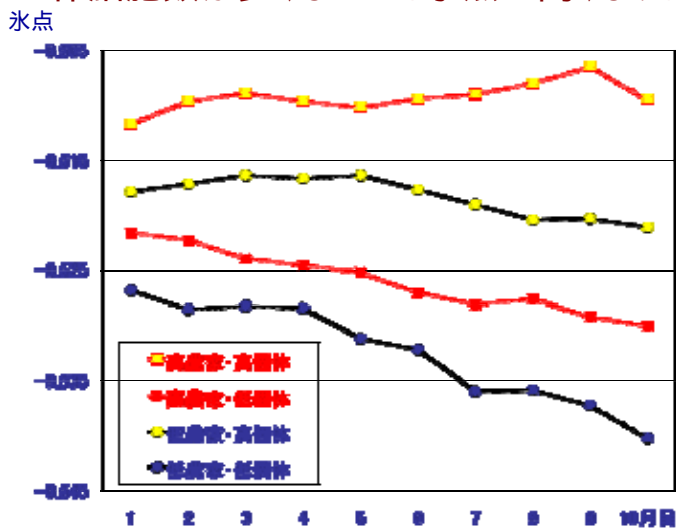
氷点と乳成分率等との関係

乳成分率が低下すると氷点は高くなり、体細胞数が多くなっても氷点は高くなります。



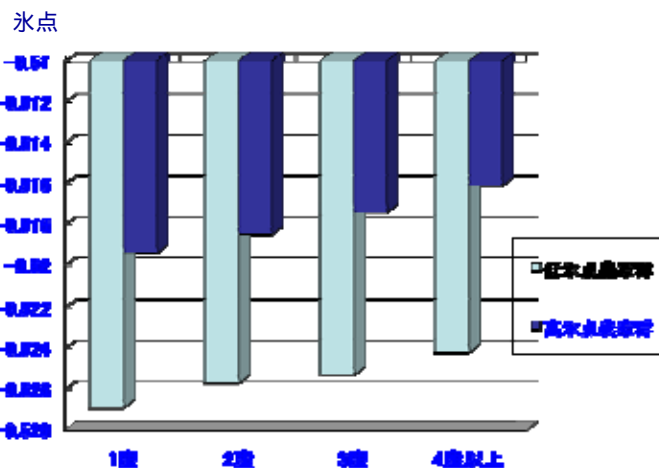
氷点と体細胞数との関係

氷点の高い牛は体細胞数が多いため、乳房炎の治療が必要です。



泌乳期による氷点の変動

氷点の高い農家・個体は泌乳期進行とともに氷点が高くなり、生乳品質の低下が認められます。



産次による氷点の変動

氷点は産次の進行とともに高くなり、生乳品質の低下が認められます。

【技術の活用】 個体乳の氷点は、農家としては飼養管理の指標に、個体としては泌乳能力や乳房炎の指標に利用でき、生乳の総合的品質評価指標として活用できます。